

# のり海況速報 第7報 (25-7)

平成26年 1月14日発行  
 千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 1/7：内湾(わかふさ)、内房北部(ふさみ丸)  
 関東・東海海況速報(12/21-1/15)、東京湾口海況図(12/21-1/15)  
 自動観測ブイデータ(1/7)、拓南観測データ(1/7)  
 モニタリングポスト(1/7：国交省関東地方整備局)

## 【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は前回(12月17-18日)よりさらに2°C下がり、7日現在9~11°C台になっています。塩分は30~32台で、平年よりやや高めになっています。
- ・また、調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近までほぼ一様に分布しています。
- ・内房北部の表層水温も降下し、12~13°C台になっています。
- ・東京湾口への沖合水の流入は一旦小康状態になりましたが、10日現在水温16°C台の水塊が金谷から久里浜を結ぶライン付近までみられていますので、この動きに注意が必要です。

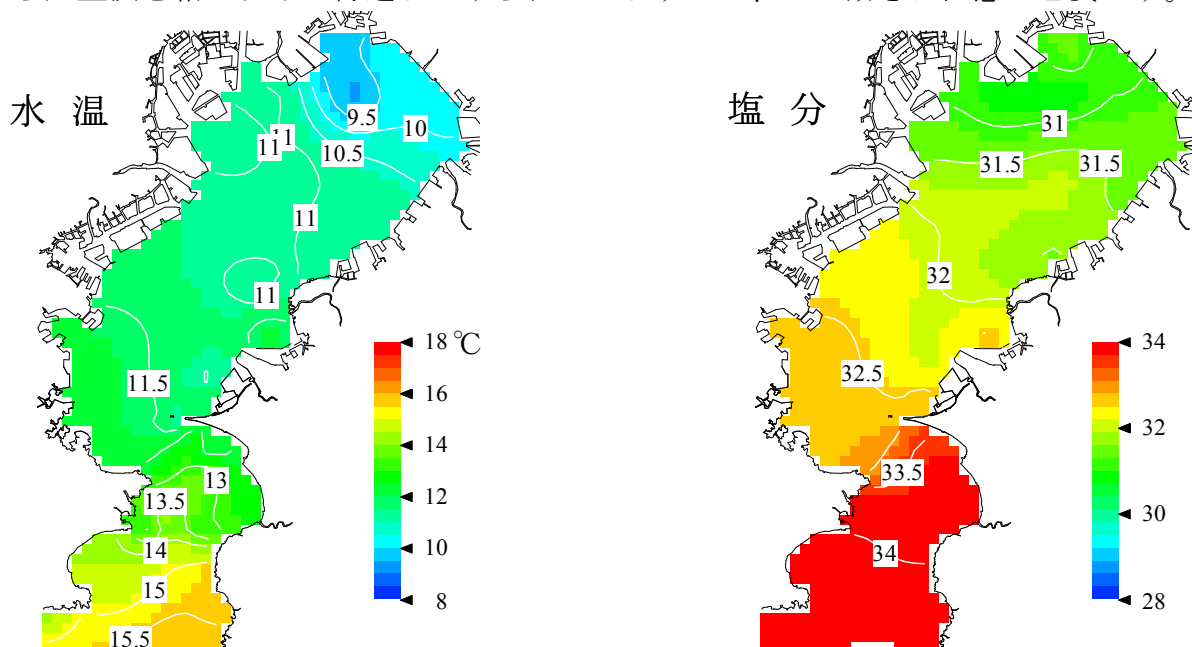


図1 表層の水温・塩分の分布(平成26年 1月 7日)

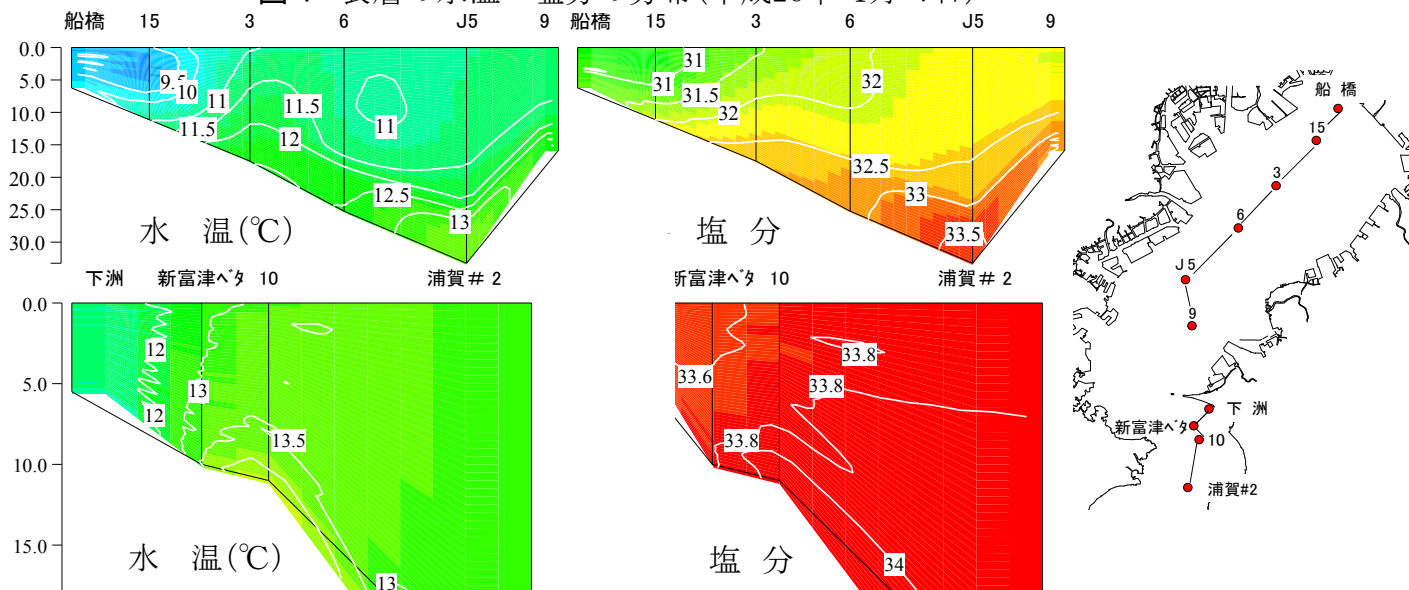


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成26年 1月 7日)  
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

## 【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮はアクアライン以北の千葉県側で発生し、千葉北部地区のノリ漁場付近ではpH8.5～8.6に上昇、透明度は2m前後に低下し、水色も褐色を呈しています。
- 優占種は小型ケイ藻のスケルトネマで、内湾では渦鞭毛藻のゴニオラックスもやや多くみられていました。
- 表層の栄養塩(図3)は窒素(D I N)は全域で十分ありますが、リン(D I P)が内湾北東部及び盤洲周辺で少なく、盤洲周辺ではノリの色落ち濃度を下回っているところもみられますので、この動向には注意が必要です。

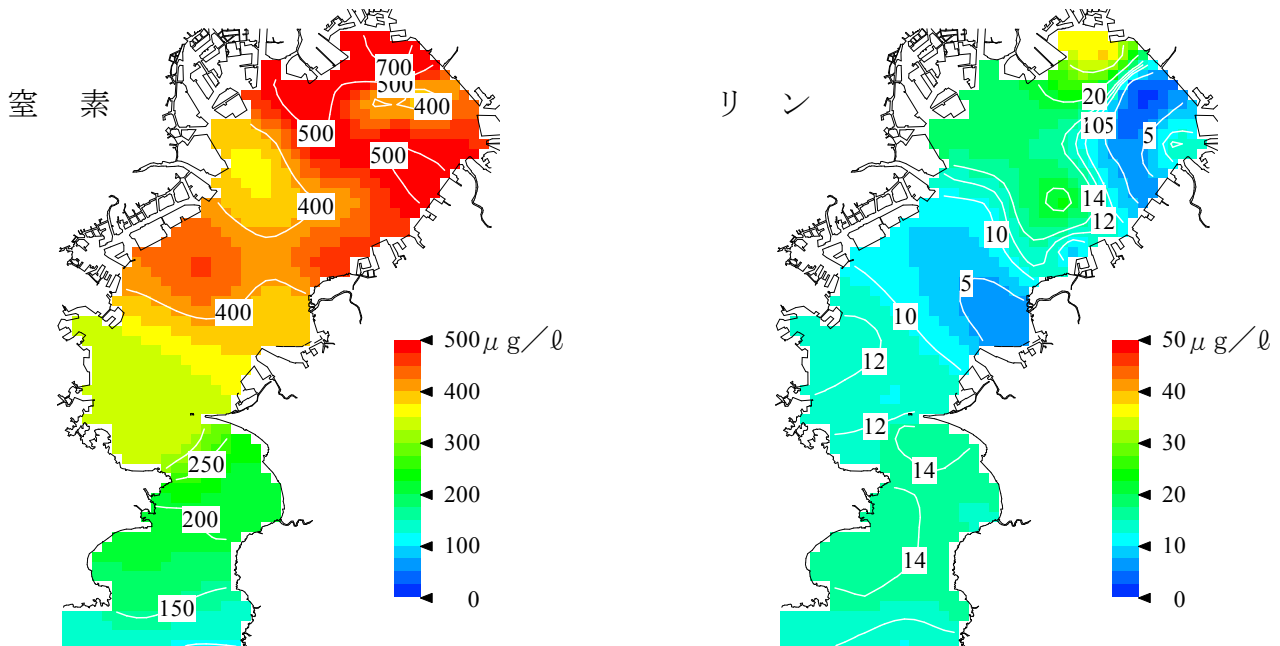


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成26年 1月 7日)

### 川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main\\_frame.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html)

携帯 : [http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile\\_forecast.html](http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html)